

銀河レポート401

No. 37
6月号

発行日：平成30年6月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700
HP：<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html>

6月の星空

ヘルクレス座

ヘルクレスはギリシャ神話の中でしばしば活躍している、いくつかの星座にも深く関係しています。全天で5番目に大きい星座でアルファベットのHの星の並びが目印です。3等星と4等星の暗めの星座ですが、うしかい座のアークトゥルスと、こと座のベガのちょうど中間あたりに位置しているため目をよく凝らすと見つけることができます。

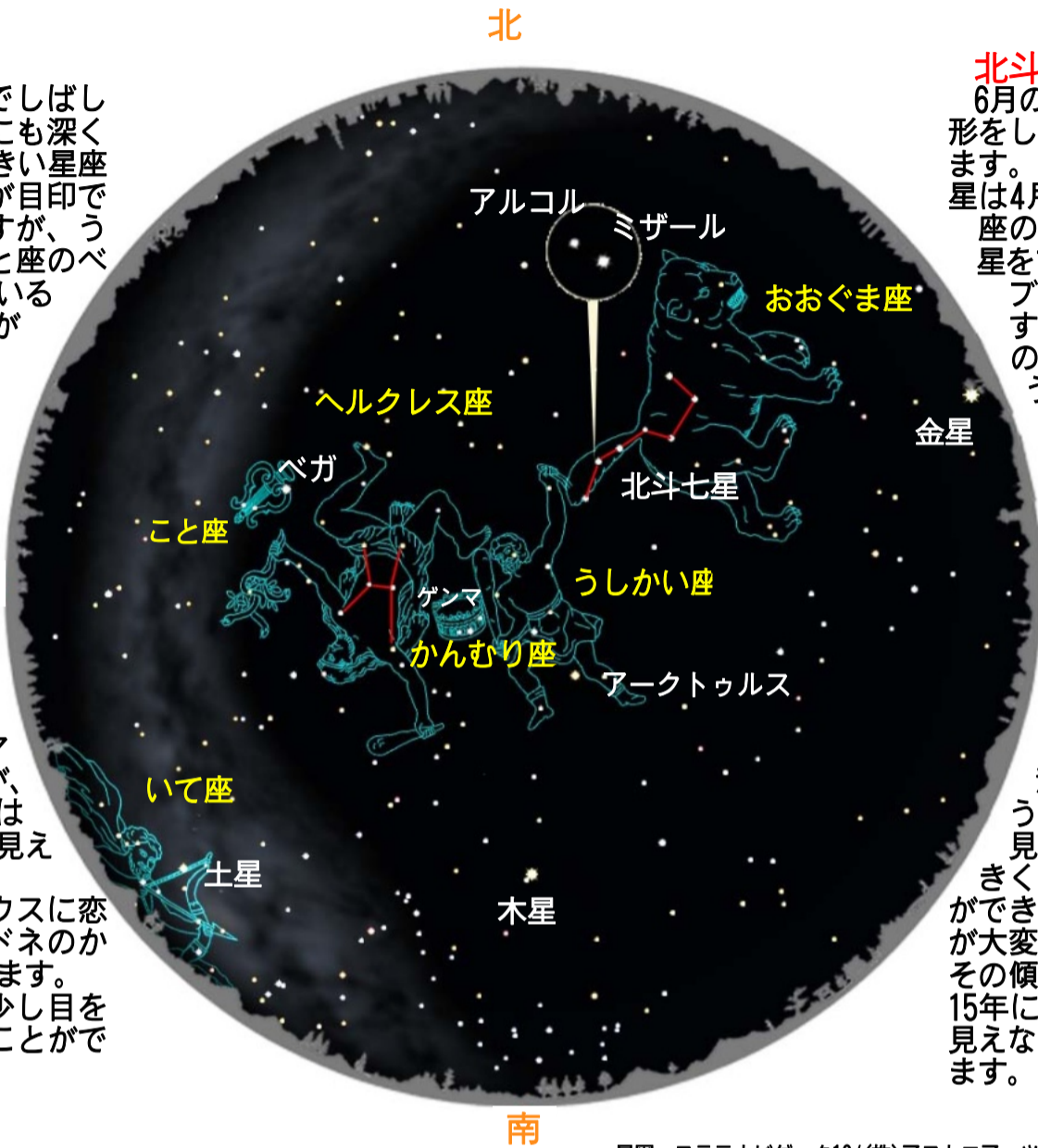
神話によるとヘルクレスは大神ゼウスと王妃アルクメネーとの間に生まれています。母であるアルクメネーは勇士ペルセウスとアンドロメダの孫にあたり、このふたりもペルセウス座とアンドロメダ座として知られています。

かんむり座

うしかい座とヘルクレス座の間に半円形に並んだかんむり座が見られます。この星座は、2等星のゲンマ以外の星は4等星以下と暗いのですが、ゲンマを中心に小さく丸く並んだ姿は王冠にちりばめられた宝石のように見えて印象に残る美しい星座です。

神話では、アテナイの王子テセウスに恋したクレタ王ミノスの王女アリアドネのかんむりが星座となったといわれています。

まず、明るいゲンマを見つけて少し目をこらすと7個の並んだ星列をたどることができます。



北斗七星

6月の北の空をながめると、ひしゃくの形をした七つの星が空高い位置に見られます。おなじみの北斗七星です。北斗七星は4月号でも紹介したようにおおぐま座の一部ですが、中国ではこの北斗七星をブタに見立てる話が残っています。ブタは幸せのシンボルなのだそうです。また、この北斗七星のひしゃくの柄の先から2番目にミザールという明るい星があり、そのすぐ近くにアルコルという暗い星があります。かつてアラビアの砂漠の民はこの星が見られるかどうかで視力の検査をしたと言われています。北斗七星が空高くにある今の時期にこの二つの星を見分けられるか挑戦してみてください。

土星

今年の土星は、いて座の位置で輝いており、6月末には太陽とちょうど反対側の位置にくるので一晩中見ることができます。また、環も大きく開いた状態で美しい姿を見ることができます。土星の環は幅に比べて厚みが大変うすく約30年をひとめぐりとしてその傾きを変えていきます。そのため、15年に一度、地球から見て水平となり、見えなくなる時期(次回は2025年)を迎えます。

星図：ステラナビゲータ10/(株)アストロアーツ

宇宙塾 第2回 「火星大接近！」

今年の7月31日に火星が15年ぶりに地球に大接近します。大接近はどのようにして起こるのか？続々と探査機が向かう火星はなぜ注目を浴びているのか？国立天文台副台長で、かつ、天文学者でもある渡部潤一先生をお招きして、わかりやすく解説していただきます。

講師：渡部 潤一氏
(国立天文台副台長)
日時：6月30日(土) 18時30分から20時
(開場18時15分)

場所：5階プラネタリウム
定員：140席 ※当日9時30分から1階総合受付で座席券を発行
料金：無料(1名様につき1席分まで) ※中学生以下は保護者同伴



渡部潤一氏

宇宙塾 第1回 報告

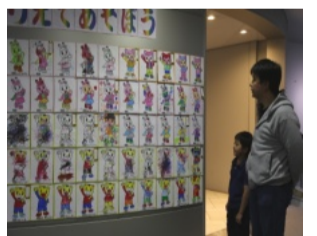
JAXAから津田雄一先生をお招きして、5月5日(土・祝)に実施しました「宇宙塾」にはたくさんの方に参加していただきました。様々な画像をもとに、はやぶさ2のプロジェクトマネージャーである津田先生ならではのお話をしていただき、講演後には質問がたくさん出されるほど好評でした。6月上旬にリュウグウに到着するはやぶさ2の活躍が楽しみです。



ぬりえであそぼう 報告

作品の展示をしました

4月のすべての金曜日と4月28日(土)～5月4日(金)に、5階コズミックラウンジで実施しました「ぬりえであそぼう」には多くの幼児のみなさんが参加してくれました。その時に提出いただいた作品をコズミックギャラリーに5月4日(金)5日(土)の二日間展示をして多くの来館者に見ていただきました。



★★観望会★★

《博物館主催きらら号観望会》

日時：6月23日(土)
時間：19時30分から21時
場所：市民公園
内容：月と木星を見よう

※天候不良時は中止です。
※当日の自由参加・無料です。

《天文ボランティア主催観望会》

日時：6月30日(土)
時間：19時30分から21時
場所：市民公園
内容：金星と木星を見よう

※天候不良時は中止です。
※当日の自由参加・無料です。
※きらら号は出動しません。

6月の月

7日		下弦
14日		新月
20日		上弦
28日		満月

編集後記

今年の夏至は6月21日です。一年で一番夜の短い日を含む6月は、梅雨の期間とも重なって、星空観察には不向きな月です。アルマ望遠鏡が設置されているチリのアタカマ砂漠は標高5000mの高地にあり、夜空は溢れるような星で満たされるそうです。日本とは位置も季節も星空の状況も正反対ですが、梅雨の晴れ間に見られる夜空の星の輝きも悪くないと思います。